

軌道スラブ水平変位拘束装置

(Track-Slab Fixing Equipment)

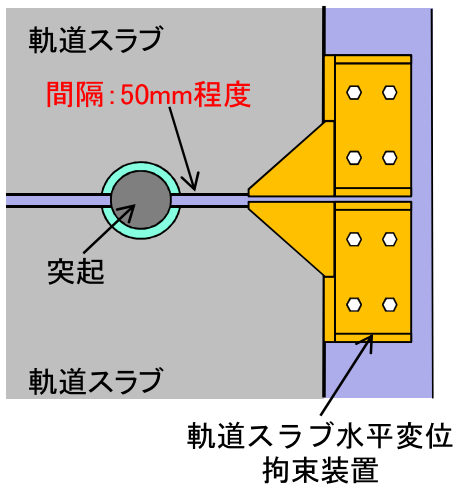
【概要】

スラブ軌道は、突起によって軌道スラブの水平変位を拘束する軌道構造です。突起は軌間中心に位置しているため、損傷や劣化が発生した場合に、作業時間帯の短い営業線で抜本的な補修を行うことが困難でした。そこで、突起と同等の機能を有し、突起の代替とすることが可能な軌道スラブ水平変位拘束装置を開発しました。

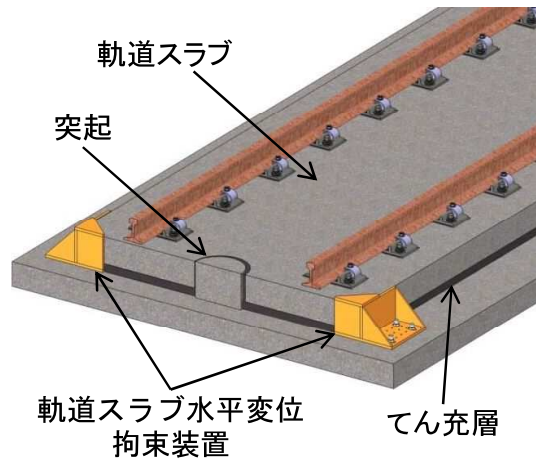
【特徴】

軌道スラブ水平変位拘束装置は、突起の代替として軌道スラブの隅角部を拘束する装置です。本装置は、狭隘なスラブ軌道の隙間に設置できるように薄肉部材を使用していますが、十分な強度を確保するため軌道スラブの隅角部を包み込むような形状としています。また、本装置の設置は簡易に行えることが特徴です。

【軌道スラブの間隔】



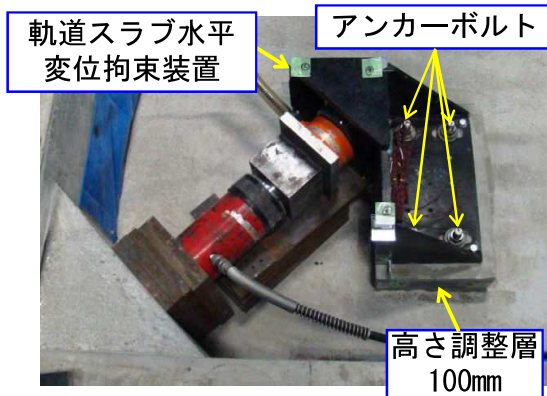
【スラブ軌道への取り付け例】



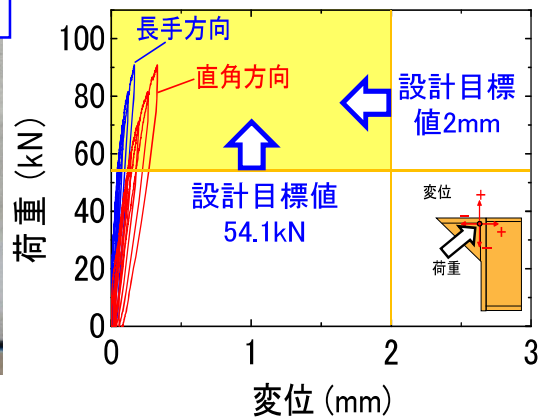
【用途】

経年等により劣化や損傷が生じている突起の代わりに、軌道スラブの前後・左右方向の移動を拘束することが可能な装置です。何らかの理由により軌道スラブが移動しているスラブ軌道に対して、突起の補助部材として用いることも可能です。

【载荷試験状況】



【载荷試験結果の一例】



- てん充層の厚さに応じて、高さ調整層を100mmまで厚くすることができます。
- アンカーボルトの埋込深さは90mm以上とし、締付けトルクは350N・mとします。

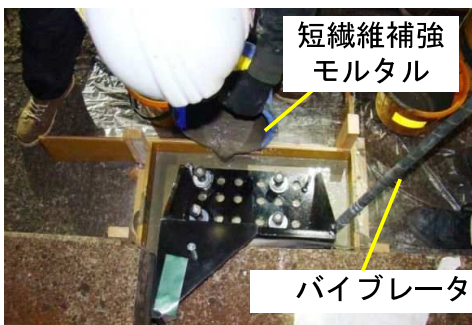
【施工手順】



①アンカーボルトの施工位置確認



②アンカーボルトの施工



③高さ調整層の施工



④完成状況

本件につきましては特許を出願中です。



公益財団法人鉄道総合技術研究所
軌道技術研究部 軌道・路盤